

令和元年度  
第4回東京都防災・仮住まい検討会

令和2年2月26日（水）

## 議事概要

### ※発言者の敬称略

#### 1 ゲスト報告・質疑

##### (1) 米野史健（国立研究開発法人建築研究所）

「東日本大震災：岩手県・宮城県における借上型仮設住宅の実態」について報告及び質疑

##### (2) 宇都彰浩（宇都・山田法律事務所）

「東日本大震災の在宅被災者調査の経験から～住まいの再建と災害ケースマネジメントの提案～」について報告及び質疑

#### 2 リーフレットについて（リーフレットの位置付け及びリーフレット案の説明）

（岡本）「4 避難先の選択」のイラストと、「雑魚寝に近い状態で暮らすことになり  
ます」という文言を再考すべき。内閣府の「避難所運営ガイドライン」とも整合しない  
のではないかな。

（宇都）「在宅避難の備え」には、使い捨ての「簡易トイレ」を入れた方が良い。

（佐藤（隆））「4 避難先の選択」では、在宅も含めて、避難できる施設のタイプを  
示す。「住まいの防災」には、事前に家屋課税台帳を住家台帳として作っておくと、後々  
効果を発揮しますよと記載しておくのが必要だ。

「住家被害認定調査」という項目を入れる必要がある。これによって「応急修理」な  
のか、「被災者生活再建支援金」を使うのかが決まってくるためだ。

最後のコラムの「広域仮住まいにする」というところで、「テレワーク」に言及する。

（石井）「2 ライフライン被害」については、「自宅の電気・上下水道等の復旧に伴  
い、自宅に戻る人が増加します」と「修理に伴い、自宅に戻る人が増加します」が時間  
軸で同じタイミングにしないと違和感がある。

（佐藤（慶））「2 ライフライン被害」を下に移す等を検討する。

（石井）「7 仮住まいの必要数の推計」というのは、行政がやるのか。

（佐藤（慶））そうだ。これも位置を検討する。

（石井）「在宅避難のソナエ」では、生存に最低限必要なことに絞って示す。

（浅野）表面の「住まいの被害」のイラストは、戸建ては燃えると誤解されると困るの  
で、適切なイラストを再考した方が良い。避難所のイラストは建物の外観が良い。

表面のフロー図に女性がいると良い。「家族と住まいに関する情報」等で、自分の家族  
の困りごと（避難先での子どもの就学、子どもの持病など）を書き込める欄があると良  
い。

先ほどの議論について、支援に関する情報を東京都が整備する必要がある。また。広

域避難では、避難先の仮住まいの情報や支援のやりとりが出来たら良いという話があったが、東京都域の災害ボランティアは、社協のブロックごとにある程度災害時は連携しながら、情報共有をしようとしている。これは、各市町村が全部の情報を集めるのは難しいというのが前提だ。これを参考に、少しエリアをまとめて、複数の自治体の情報共有や住まいの支援をしていく方法もある。

宇都先生のお話で、被災者の自己決定が大事だというのは、まさにそうである。母子避難者に対してヒアリングを行った際にも、自己決定の重要性を把握した。

学校や育児、介護、仕事等の情報を得られる状況の中で、仮住まいや住まいの再建のプロセスはあるべきだ。

(大月) 対象とする災害は、「地震」だけか。「水害」は考慮しないか。

今後バージョンアップしていくものなのか。その場合は、「版」を入れた方が良い。また、発行日は入れた方が良い。

本リーフレットは、「災害で生き延びるリテラシーを高める図上訓練である」ということを、明記する。

「住まいについて」では、新耐震や旧耐震を見分ける方法を示したらどうか。また、どんな保険に入っているか（読者が得をするような情報を入れる）。

「災害時の避難先・仮住まい先」では、「仮住まい」の建設予定地の確認等の仕方をQRコードを活用して示す。

フロー図では、公共のタイムラインを一番下に持ってきて、自助を一番上にする。

(佐藤(慶)) その示し方は、先ほどの石井先生の指摘への対応にもなる。

(佐藤(隆)) 保険に入った場合のメリット（保険の適用となること）も紹介すると良い。

(大月) 参照先のQRコードを入れるなど。

(宇都) 言葉が難しいから、フリガナを振った方が良い。情報量も多い。

(石井) 「在宅避難の備え」は、スペースを上手く使って、ジェンダーにも配慮した情報発信をしてほしい。

### 3 その他

(1) 来年度の事業概要（来年度の本事業の概要について説明）

(岡本) タウンミーティングの主催者は、専修大学なのか。

(事務局) 主催は大学だが、経費は大学提案事業ということで都が賄っている。

(岡本) タウンミーティングには、本検討会の委員が講師として参加することを想定しているか。

(佐藤(慶)) タウンミーティングに委員やゲストをお招きして話し合うイメージだ。

(岡本) 委員もオフサーバー的にタウンミーティングに参加する必要があると思う。

(佐藤(慶)) ご協力いただきたい。

以上